

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

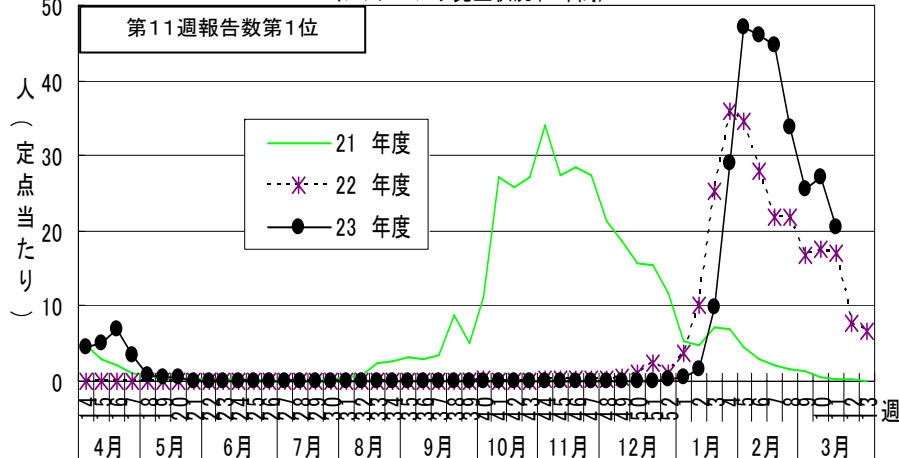
平成24年3月12日（月）～3月18日（日）〔平成24年第11週〕の感染症発生状況

第11週で患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

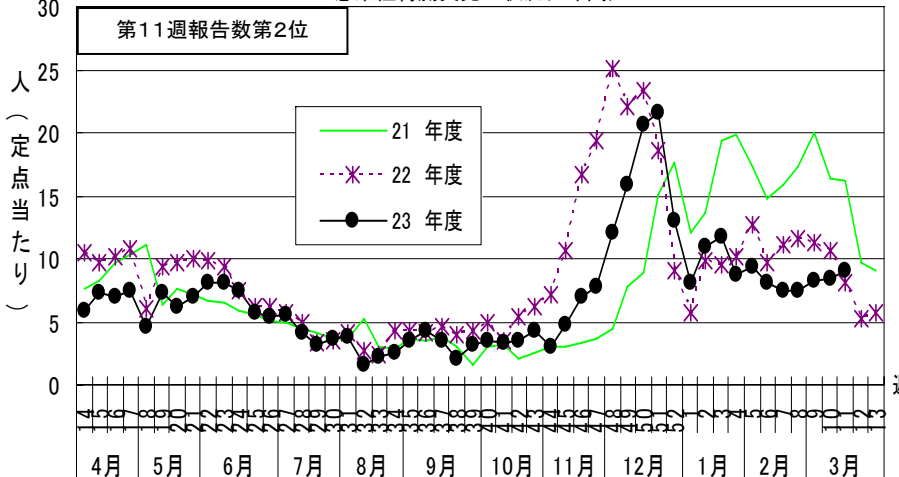
インフルエンザは定点当たり20.39人と前週（27.11）より患者報告数は減少していますが、過去10年間の同時期と比較すると、平成19年に次いで2番目に多い報告数となっていますので、引き続き予防対策が重要です。また、宮前区では依然として患者報告数が多く、定点当たり34.63人と流行発生警報基準値（定点当たり30人）を超えています。

感染性胃腸炎は定点当たり9.12人と前週（8.48）より患者報告数はやや増加していますが、例年に比較すると低いレベルで推移しています。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



春から夏にかけて気をつけたい感染症！！

春から夏に患者報告数が増加する感染症として「**麻しん（はしか）**」に注意する必要があります。これから新年度を迎えるにあたり、人が多く集まる場所等に行く機会が増えると思いますので、事前の予防接種や手洗い・うがい等を徹底し、これらの感染症に注意しましょう。

麻しん

【症状】 初期症状は発熱、咳、くしゃみなどで風邪と似ており、その後発疹などの特徴的な症状があらわれますので、麻しんと気づかないまま周囲に感染させてしまう可能性があります。

※【気をつけたいこと】 麻しんは非常に感染力が強く、免疫がない人がウイルスを取り込んでしまうと90%以上の方が感染します。麻しんの最も効果的な対策は予防接種です。4月からの入園・入学に備えて、必要な予防接種をすませましょう。



※3月8日（木）から31日（土）までは「**麻しん・風しん（第3期・第4期）**」**予防接種強化期間**です。強化期間中は、土日・祝日にも接種を受けられる医療機関がありますので、まだワクチンの接種を受けていない方は、この機会に必ず予防接種を受けましょう。

